

まちづくりレポート



市議 小室たかえ

〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通 1-3 電話/FAX046-823-1211  
代表 瀧川君枝 <https://yokosuka.kanagawanet.jp>

まだ続くコロナ禍だから  
全ての子どもに安心な  
居場所を！

コロナ禍は、老若男女を問わず多くの市民に影響を及ぼしています。数々の支援策が打ち出されましたが、必要なものが、必要な方へ、必要とするタイミングで届いているのかが懸念されます。長引くほどに、未来を担う子どもたちへの影響も心配です。社会が不安定な今、子育て・子育てを支える施策が急がれます。

◇放課後児童クラブが

保育料を減免できる

補助制度が必要ですよ◇

コロナ禍で収入が減った家庭には、放課後児童クラブの利用料（保育料）も大きな負担となっており、退所せざるを得ないという事態にもなっています。市内の放課後児童クラブの月額利用料は、平均1万6千円ほどで、全国的に見て高額です（図1）。横須賀市のおよそ7人に1人。相対的貧困にある世帯の母親は、正規雇用が13%で、非生活困難世帯と比べて低い状況です。（図2）

72か所の放課後児童クラブのうち生活困難家庭に対し市費を

投じ利用料の減免を行っているのは唯一の公設クラブのみです。困窮家庭への減免が可能となる市による独自の補助制度が、今こそ必要です。

図1：放課後児童クラブ月額利用料（全国）

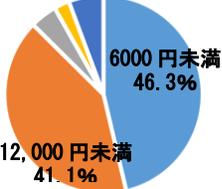


図2：小学5年生の母親の雇用形態（横須賀市/2018年度）

非生活困難層	21	53	23	(%)
	正規	パート	家事専業	
相対的貧困層	13	57	25	

◇放課後児童支援員の

雇用の安定を！◇

放課後児童クラブは、「もう一つのおうち」。子どもとしっかり向き合える専門職としての放課後児童支援員は、大切な存在です。感染防止のための利用自粛で利用料収入が減り、放課後児童クラブの運営が不安定になったり、支援員の労働対価に影響が出たりしないように、市は、国の支援員に対する補助金メニューをしっかりと活用していく必要があります。\*放課後児童クラブとは、保護者が日中仕事などで留守になる家庭の児童のための施設です。

◇ミュージックチャイムの

時間を変更して

遊ぶ時間を保障しよう◇

夕方になると防災無線から流れるミュージックチャイム。多くの子どもたちは、これを帰宅の合図としています。横須賀市では、夏場（4月～9月）は17時、冬場（10月～3月）は16時に放送されています。これでは日没時刻とかけ離れる時期もあり、まだ明るくて外で遊べるのに、遊ぶ時間を制限してしまうことになっています。

チャイムの時刻の変更を

変更する要因はない（教育長）

教育委員会から要請があれば考える（市長室長）

6月市議会是一般質問なし！

◆コロナ禍だからこそ  
市政のチェックを！◆

6月定例会議では、本会議の一般質問が行われませんでした。大会派からなる議会運営委員会の決定で、「コロナ対応に専念できるように」という理由のようです。

議会はコロナ対策協議会を設置しましたが、そこに市長はおらず、会派中心の構成です。常任委員会も議案や法定報告に留め、所管事項に係る質問は中止。

一般質問は主に市長・教育長と直接議論を交わす重要な場です。市の方向性を定め軌道修正を図ることこそが、二元代表制における議会の役割です。質問の機会を議会自らが閉ざしたことに、選挙で付託した市民として納得できません。

市の仕事はコロナ対策だけではありませぬし、ましてや影響はこれからですから、6月は重要な時期だったはずですよ。

横須賀市は頑張っていると思うことも多々あります。が、8月の登校日に給食がないことに議会の責任はないのでしょうか。臨時休校により居場所も給食もなくなった子どもと保護者の悲鳴が聞こえなかったのか。仕事を失い生活費に困る方に適切な支援ができていますか。

議会は不要不急のものではないことを、肝に銘じていただきたいものです。（瀧川）

「特別定額給付金  
ハガキの不思議」  
税金の無駄遣い！では？

市は、国による一人10万円の給付金の手続きに必要な書類を、5月22～29日に19万9000世帯に発送しました。

発送の遅れに加え、入金が遅れ、必要があって手続きを急いだ方からは、不安の声が聞かれました。

ホームページに入金日の目安が掲載されたものの実際にはその通りではなく、再度「ハガキで通知をします」と掲載。ところが、通知があっても入金されていなかったという声も聞かれるようになりました。まさに混乱の極みです。

逗子や鎌倉のネット議員に尋ね、そんな事務（ハガキでの通知）はしていない！ということがわかりました。

つまり、横須賀市独自の事務だったということで、ハガキ郵送経費と人件費が市予算から使われたこととなります。

①入金を急ぐ②支払いや生活費に当てるために急いでいる方の問い合わせに丁寧に対応する。これらに集中するべきだったのではないのでしょうか。（瀧川）

♪ 政治サロンへ、どうぞ♪  
ネット横須賀事務所(米が浜通)にて

※ご相談、意見交換等もどうぞ。お気軽にご参加を。  
(日時はホームページ又はお電話でご確認ください。)

一般質問なし	横須賀市、秦野市、海老名市、開成町
一般質問時間短縮	小田原市、厚木市、伊勢原市、大井町
一般質問者数削減	相模原市
本会議出席議員の削減	大和市
議場内の出席議員数制限	藤沢市
議場内の出席理事者数を制限	藤沢市、大和市
会期短縮	相模原市、鎌倉市、厚木市、三浦市、大和市、箱根町
会期延長	清川村
住民の傍聴を制限	横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、茅ヶ崎市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、寒川町、大磯町、中井町、開成町
専決処分	大和市、平塚市、三浦市

今年1月以降の県内自治体議会のおおよその状況（報道、各議会HPから）

—おおぜいの市民で政治を変える！ 企業団体献金も政党助成金もありません！—

神奈川ネットワーク運動は、生活の中から見えてきた課題を、政治家や役所に任せきりにせず、市民主体で解決を図る、「市民社会」をめざす地域政党です。県下には16の自治体に24の地域ネットがあり、県・市議会に15人の女性議員がいます。新会員(年会費1,000円)、チラシまきボランティア、カンパなどでのご参加をお待ちしています。—カンパ口座 神奈川ネットワーク運動・横須賀 横浜銀行横須賀支店 541-1834959—

◆選挙はカンパとボランティア ◆活動費は会費と市民の寄付 ◆身近な問題はミニフォーラムで解決 ◆議員は2期8年で交替